…→ 三輪　忍（電気通信大学）

THINK LIKE ZUCK
マーク・ザッカーバーグの思考法

Ekaterina Walter 著，斎藤栄一郎 訳
講談社（2014），272p，1,500 円＋税，ISBN：978-4-06-218959-0

この本は，Facebook の生みの親である Mark Zuckerberg を中心に，アップル社の前 CEO（Chief Executive Officer）だった故 Steve Jobs など，世界に変化をもたらす製品やサービスを生み出す組織を率いる人物に共通する思考法を分析した本です．この本では，彼らの過去の発言や行動から仕事に対する考え方を抽出し，世界に変革を起こす仕事をするために必要な要素として分かりやすくまとめあげています．著者の Ekaterina Walter は，私はこの本を読むまで知らなかったのですが，経営やマーケティングのオピニオンリーダーとして今アメリカで注目を集めている人物だそうです．

世界を変える仕事をするために必要な要素はいろいろありますが，著者の考えでは，「情熱（Passion）」「目的（Purpose）」「人材（People）」「製品（Product）」「協力（Partnerships）」の 5 つの「P」がすべての基本になるそうです．以下では，この 5 つの要素に関する記述を簡単に紹介します．

情熱（Passion）

どんな仕事を行う場合でも，まずは自分が情熱を燃やせるかどうかが重要です．情熱は仕事に対するモチベーションとなります．Zuckerberg の場合は，幼少の頃からプログラミングが大好きで，さまざまなソフトウェアを自作していました．そうする中で，やがてコミュニケーションツールの開発に強い関心を持つようになり，「少しでも良いツールを提供したい」という熱い思いが Facebook の開発へと繋がりました．

目的（Purpose）

仕事に対する情熱が自分の中に湧き上がってきたら，仕事に対する長期的なビジョンが生まれてきます．Zuckerberg が最初に Facebook を開発したのはハーバード大学に在籍していたときのことですが，その際にハーバードの友人たちと行った熱い議論の結果，「もっとオープンで深いつながりが持てる世界を実現する」という Facebook の社会的使命は誕生しました．この使命は Facebook 社の経営理念として掲げられており，今でも変わっていません．

人材（People）

優れた仕事を行うためには最高のチーム作りが欠かせません．ここで最高のチーム作りとは，単に質が高い人材を集めればよいというのではなく，社風に合った優秀な人材を集めることです．Facebook 社には，「ハッカー魂」と呼ばれる，改善と試行を短いサイクルで繰り返すことでより良い製品を生み出す，という社風があります．社風に合った優秀な人材を集め，彼らの管理を極力やめた上で全面的に信頼して権限を与えてやれば，素晴らしいアイディアが自然と生まれるチームになります．

製品（Product）

情熱，目的，そして人材（協力）が揃うことで，優れた製品が生み出されます．Facebook 社には上

述の「ハッカー魂」，つまり，完璧ではなくてもよいのでとにかくどこよりも早く製品をリリースする，そしてユーザの反応を見ながら製品に次々に改良を加えていく，という文化があります．写真を複数枚アップロードする機能，写真をユーザ間で共有する機能，写真内の人物にタグ付する機能など，Facebook には新しい機能が次々と加えられていきました．特に，競合他社に先駆けて 2006 年に行われた Facebook API（Application Programming Interface）の公開は，SNS（Social Networking Service）界における Facebook の地位を盤石のものとしました．

協力（Partnerships）

大きな仕事は 1 人でできるものではなく，他者と連携して進めていく必要があります．その際に重要なことは，価値観を深く共有できる，自分にはないスキルを持った人をパートナーとして選ぶことです．Facebook 社は，Sheryl Sandberg という優れた会社経営の実務家を COO（Chief Operating Officer）に迎えたことで，20 倍以上も売り上げを伸ばすことに成功しました．また，Sandberg に経営面を任せたことで，Zuckerberg は自身が得意とする製品開発に注力できるようになり，組織には好循環が生まれています．

いかがでしたか？　5 つの要素は，いずれも言われてみれば当たり前のことですが，これらすべてが揃った組織はなかなかお目にかかれません．

本会誌の読者には，研究室やプロジェクトチームなどの組織を率いる立場におられる方も多いと思います．「最近，組織がうまく回ってないな…」と感じていらっしゃるようでしたら，この本を読んでみてはいかがでしょうか？　改善のためのヒントが得られるかもしれませんよ．

（2015 年 2 月 2 日受付）

三輪　忍（正会員）　miwa@hal.ipc.i.u-tokyo.ac.jp
2005 年京都大学大学院情報学研究科博士後期課程認定退学．博士（情報学）．現在，電気通信大学大学院情報システム学研究科准教授．コンピュータアーキテクチャ等の研究に従事．